



取扱説明書

必ず実行していただく
「強制」の内容です。

V1.7

- ・ USB2.0 もしくは USB1.1 ポートへの接続を推奨します。
- ・ USB3.0 ポートへ接続した際、PC 側の仕様により認識しない場合があります。
- ・ USB3.0 ポートの有るす PC で使用する際は、UEFI/BIOS の設定変更が必要な場合があります。変更方法は、各 PC メーカー・マザーボードメーカーにご確認ください。
- ・ USB ハブ経由で使用する際、電源供給能力により本製品が動作しない場合があります。
- ・ セットアップ作業を行う際は、管理者権限を持つユーザーでログインして下さい。
- ・ 本製品はホットプラグに対応しています。OS が起動した状態で、着脱可能です。
- ・ OS の起動中にも何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合があります。
- ・ このような場合は、OS を再起動してください。

- 6 -

■LED2 … CapsLock のインジケータ。CapsLock ON の時、黄色で点灯

右ユニット背面 DIP スイッチについて

本体背面上部に DIP スイッチを搭載しています

DIP スイッチの ON / OFF により、各スイッチに割り当てられたキー機能変更設定を有効 / 無効にすることが可能です

工場出荷時は全て OFF (スイッチが下がっている) 状態です

SWNo.	変更項目	OFF (初期設定)	ON
SW1	macOS 風配列最適化モード	Windows モード	macOS 風配列最適化モード
SW2	左 Ctrl キー	左 Ctrl キー	CapsLock キー
	CapsLock キー	CapsLock キー	左 Ctrl キー
SW3	左 Alt キー	左 Alt キー	左 Windows キー
	左 Windows キー	左 Windows キー	左 Alt キー
SW4	CapsLock キー	CapsLock キー	Fn キー
	Fn キー	Fn キー	CapsLock キー

■ macOS 風配列最適化モード時のキー動作

・マルチメディアファンクション等

F1：ディスプレイ輝度を下げる (F14)	※1	F7：前のトラックへ	※5
F2：ディスプレイ輝度を上げる (F15)	※1	F8：トラックの再生 / 一時停止	※5
F3：Mission Control (Ctrl + ↑)	※2	F9：次のトラックへ	※5
F4：Launchpad	※3	F10：ミュート (消音)	
F5：MD770RGB のバックライト輝度を下げる	※4	F11：音量を下げる	
F6：MD770RGB のバックライト輝度を上げる	※4	F12：音量を上げる	

・その他：① 左 Windows (Command) キーと左 Alt キー (Option) の位置入れ替え
② 右 Alt キー → 右 Windows (Command) キーへ変更

※1 … ラップトップ型 (ノート型) 機種のみで動作。外付けディスプレイでは動作しません

※2 … OS が初期設定である場合のみ動作します

(設定の確認方法)

アップルメニュー>「システム環境設定」>「キーボード」をクリックします

続いて「ショートカット」タブをクリックします

左側に表示されたリストより、「Mission Control」をクリックします

右側に表示されたリストの、“Mission Control” チェックボックスが ON で、

右端のキーコンビネーション欄が “^↑” になっているかご確認ください

※3 … Launchpad キーとして使用する際は、MacOS 側で設定が必要です

(設定方法)

アップルメニュー>「システム環境設定」>「キーボード」をクリックします

続いて「ショートカット」タブをクリックします

左側に表示されたリストより、「Launchpad と Dock」をクリックします

右側に表示されたリストの “Launchpad の表示” のチェックボックスを ON にし、

右端のキーコンビネーション欄をクリックし、“F4” を打鍵し設定してください

※4 … MD770 RGB バックライトモデルのみ

※5 … iTunes がアクティブの時

注意	・故障の原因になりますので、必ず接続ポートからキーボードを取り外した状態で DIP スイッチを操作してください
----	---

- 9 -

マクロプログラミングエディットモードと設定方法 (続き)

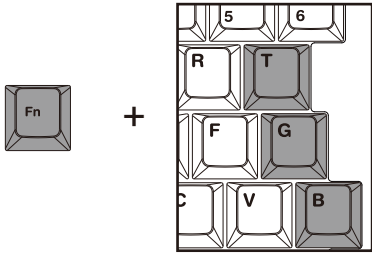
■ マクロ設定が出来ないキー

マクロ設定時に必要な下記のキーへのマクロ設定は行うことが出来ません

・ Pn キーおよび Pn キーと同時押しするキー操作

■ 遅延間隔を挿入したプログラミング

文字と文字の遅延間隔の設定をしたい場合は、次の操作で行うことができます

遅延間隔を 15ms にしたい場合	・・・ Fn + T
遅延間隔を 0.1s にしたい場合	・・・ Fn + G
遅延間隔を 0.5s にしたい場合	・・・ Fn + B
(※設定していない場合は、15ms 間隔でプログラムされます)	
	

また、遅延間隔をより細かく設定することもできます

但し、遅延間隔を 1 回挿入する毎に、1 キーストロークとしてカウントされます
各キーに対して、プログラミング可能なキーストローク数の制限があります

(例) Q を押した際に、“ok” と入力されるようプログラムする
o と k の間に 1.2 秒の間隔を挿入する

“O” を打鍵	→	Fn+B x2 回打鍵 (0.5s x2=1s) Fn+G x2 回打鍵 (0.1s x2=0.2s) 計：1.2s	→	“K” を打鍵
1 キーストローク		4 キーストローク		1 キーストローク

・ プログラムエディットモードで、約 30 秒間どのキーも押されない場合、通常モードに戻ります。

- 11 -

マクロプログラミングエディットモードと設定方法

マクロプログラミングは、下記の手順で設定します

ステップ 1：マクロプログラミングレイヤー を選択します

初期レイヤーはマクロプログラミングすることができません

1 ～ 3 レイヤーのみマクロプログラミングが可能です

※設定を行う前にすべての DIP スイッチが OFF であることを確認してください

初期レイヤー	+	M	or	C	or	>	or	?	レイヤー 2
Pn									レイヤー 3
レイヤー 1									

・ デフォルトレイヤー … Pn+ M を押して、Pn を先に離す → LED1 は消灯状態

※デフォルトレイヤーにはマクロプログラミングはできません。

・ レイヤー 1 … Pn + , < を押して、Pn を先に離す → LED1 が赤色で点灯します

・ レイヤー 2 … Pn + . > を押して、Pn を先に離す → LED1 が緑色で点灯します

・ レイヤー 3 … Pn + / ? を押して、Pn を先に離す → LED1 が青色で点灯します

ステップ 2：Fn + 右 Ctrl を押してプログラミングエディットモードに進みます
→ LED1 が白色で点灯します

Fn	+	Ctrl
右 Ctrl		

ステップ 3：マクロをプログラムしたいキーを押します

→ LED1 が白色で点滅します

ステップ 4：プログラムしたい内容をタイピングし、最後に Pn を一度押します

Pn を押すことで、プログラム設定が保存 (セーブ) されます

→ LED1 の点滅が止まり、再び白色に点灯します

ステップ 5：ステップ 3 と 4 を繰り返し、その他のキーにもプログラムします

ステップ 6：Fn + 右 Ctrl を押し、プログラミングエディットモードから退出します

→ 設定が終わると、LED の点灯が設定モードに入る前の状態に戻ります

■ すでにプログラムされているキーに別のプログラムを設定しなおす方法

ステップ 3-4 で、マクロをプログラムしたキーを 2 度押します

その後 LED1 は白色で点滅しますので、ステップ 4 に進んでください

■ すでにプログラムされているキーに元に戻す方法

ステップ 3-4 で、マクロをプログラムしたキーを 2 度押します

その後 LED2 は白色で点滅しますので、Pn を一度押してください (セーブ)

Fn + 左 Ctrl を押し、プログラミングエディットモードから退出します

→ 設定が終わると、LED の点灯が設定モードに入る前の状態に戻ります

- 10 -

マクロプログラミングエディットモードと設定方法 (続き)

■ Fn および Pn キーのリマップ機能と設定方法

Fn および Pn キーを任意の移動 (リマップ) することができます

移動後、元々の Fn キー位置は右 Windows キー、

元々の Pn キー位置は APP / Menu キーとして動作します

なお、これらのキー位置にマクロプログラミングすることはできません

ステップ 1：マクロプログラミングレイヤー を選択します。

・ レイヤー 1 … Pn + , < を押して、Pn を先に離す → LED1 が赤色で点灯します

・ レイヤー 2 … Pn + . > を押して、Pn を先に離す → LED1 が緑色で点灯します

・ レイヤー 3 … Pn + / ? を押して、Pn を先に離す → LED1 が青色で点灯します

ステップ 2：Fn もしくは Pn + 左 Shift を長押します。→ LED1 が白で 3 回点滅

→ LED1 が選択中レイヤーの色で点灯→長押ししているキーを離す

→ LED1 が白で点滅

ステップ 3：Fn もしくは Pn を移動 (リマップ) したいキーを押します

→ 設定が終わると、LED の点灯が設定モードに入る前の状態に戻ります

注意	1：Fn や Pn ポジションを変更し、割り当てた位置を忘れてしまった場合は、Fn + R で (Fn キーは元々の位置) を使って、レイヤーリセットをしてください。但し、一緒に選択中レイヤー内のすべてのマクロ設定もリセットされます。 2：Fn や Pn のポジション変更が可能なキーには制限があります。 左 Shift キー、右 Ctrl キーへのリマップできません。 3：Fn、Pn キーは、同じレイヤー内に 2 箇所以上設けることはできません。
----	--

■ 選択中の各レイヤーを初期状態に戻す

ステップ 1：Fn + R を長押しします

ステップ 2：LED1 が白色で 5 回点滅 → 消灯します。これでレイヤーリセット完了です

■ すべてのレイヤーを初期状態に戻す

ステップ 1：左 Alt + 右 Alt を長押しします

ステップ 2：LED1 が白色で 5 回点滅 → 消灯します

これですべてのレイヤーのリセット完了です

ステップ 3：完全にリセットするために、キーボードに接続したケーブルをすべて抜き取り、再度差し込みなおしてください

注意
・ レイヤーを初期化すると、マクロプログラミング設定と FN/PN のリマップ設定 RGB カスタムモードのデータが全て失われます。

LED バックライトの操作方法 (RGB モデルのみ)

・ Pn + ESC = カラーパレット表示

… 各キー毎に割り当てられた、異なるカラーが表示・点灯されます

下記 “点灯モードの切り替え” で説明する全点灯単色発光モード / Breathing モード、14 ページで説明するカスタムカラー編集モードでのキー配色選択で利用できます

・ Pn + F5 = 点灯モードの切り替え

… Pn + F5 を打鍵する毎に点灯モード (発光パターン) の切り替えができます

消灯状態を含めて 11 個の発光パターン (下記表参照) がプリセットで用意されており、切り替えが可能です。1→2→3……→9→10→11→1……の順番で切り替わります

順番	点灯モード	RGB 配色調節	発光パターン速度調節
1番	全点灯単色発光モード	調節可能	調節不可 (固定)
2番	Breathing モード	(Pn + ESC かつ F6～F8)	
3番	Cycling モード		
4番	Wave モード		
5番	Rain drop モード		
6番	Reactive モード		
7番	Ripple モード		
8番	Rotating モード		
9番	Snake モード		
10番	WASD / 矢印キー点灯モード		
11番	無点灯 (バックライト OFF)		

・ Pn + F6 = カラー配色調節 (R 赤)

・ Pn + F7 = カラー配色調節 (G 緑)

・ Pn + F8 = カラー配色調節 (B 緑)

… 三原色 RGB の強さを、それぞれ 10 段階で調節できます

1 回の打鍵で 1 段階強くなります。

・ Pn + F9 = カスタムカラー編集モード

・ Pn + F10 = カスタムカラー再生モード

… カスタムカラー編集モードは、各キーを好みの色を設定し、保存するモードです
10 ページで説明している各マクロレイヤーに 1 種類の点灯設定が保存できます
点灯パターンは設定できません。設定方法については、14 ページを参照してください
カスタム (CM) カラー再生モードでは、カスタム (CM) カラー編集モードで保存した、点灯設定を呼び出すことができます

・ Pn + ↓ = LED 輝度 DOWN / Pn + ↑ = LED 輝度 UP

※輝度は 11 段階調節 (消灯含む)。消灯状態では機能しません

・ Pn + ← = 発光パターン速度 DOWN / Pn + → = 発光パターン速度 UP

※速度調節は 5 段階。消灯状態 / 発光パターン固定状態の場合は機能しません

・ Pn + 0 = バックライト機能 OFF

- 13 -

Windows10 キーボードの配列設定変更

キーの印字通りに正しく入力できない場合は、OS 側でキーボードの配列設定変更が必要な場合があります
(例)

・ SHIFT + “2” (テンキーではないほうの “2”) を入力した際、

「@」ではなく「!” が入力されてしまう → 日本語配列キーボードとして認識している

※Windows プラグアンドプレイなどが要因となり、OS 側で勝手にキーボードの配列設定が

変更されてしまう場合もございます

その場合は、下記の方法で設定変更を行ってください

1. 左下の Windows マークをタップ (キーボードの Windows キーを押す)
もしくは画面の右端をスワイプアクションセンターを立ち上げます
設定のアイコン (歯車マーク) をタップし、Windows の設定を立ち上げます
2. 「時刻と言語」をタップします
3. 「地域と言語」をタップします
4. 「言語」の「英語」をタップし、「オプション」をタップします
5. 「ハードウェアキーボードレイアウト」の「レイアウトを変更する」をタップします

【英語配列キーボードを接続してるが、日本語配列キーボードとして認識してる場合】
レイアウトの設定が「日本語キーボード (106/109 キーボード)」になっている場合は、「英語キーボード (101/102 キーボード)」に変更し、サインアウトします

ファームウェアの更新

キーボードをより快適に利用できるようにするため、ファームウェア更新プログラムを WEB 上でご提供する場合があります

ファームウェアの更新は、Windows PC からのみ行うことができます
macOS やその他 OS からの更新はできません
WindowsPC をご用意いただく必要があります

◎ メーカーの最新ファームウェア公開のあわせて、ホームページ上で公開中の FAQ に関しても随時更新してまいります。

<http://www.archisite.co.jp/support/faqkeyboard/>

- 15 -

カスタムカラー編集モードの設定手順 (RGB モデルのみ)

ステップ 1：マクロプログラミングと同様にレイヤーを選択します

ステップ 2：Pn + F10 を押して、カスタムカラー再生モードを開始します

ステップ 3：Pn + F9 を押して、カスタムカラー編集モードを開始します

ステップ 4：Pn を押しながら F6 ～ F8 を一緒に押し、光らせたい配色を調節するか、Pn + ESC を押しカラーパレット表示を行い、光らせたい配色を選んでください
※カスタムカラー編集モードの状態では、キー入力はできません

ステップ 5：ステップ 4 で選択した配色を使い、光らせたいキーを打鍵・選択していきま
一度押すと、ステップ 5 で調節・選択した色で光ります

別の色に変更したい場合は、変更したいキーをもう一度押し、そのキーの LED が消灯状態・リセットするか
ステップ 4 の方法で配色を再度選択し、変更したいキーをもう一度押します

ステップ 6：カスタムカラー編集を終了する際は、再び Pn + F9 を押します
編集モードを終了すると、そのままカスタムカラー再生モードに戻ります

ステップ 7：設定後は、Pn + F5 などでの他の発光パターンを選択し、再びカスタムカラー再生モードを選択・再生したい場合は、Pn + F10 を押し、カスタム (CM) カラー編集モードで保存した点灯設定を呼び出すことができます

- 14 -